

働くということ

What it means to work

アイリーン・ファン **Eileen Huang**

82-371: Advanced Japanese I

上級日本語 I

この作文では、働くということの読み物について書きたいと思う。まず、働くことの一つ目の価値は会社の一員になることだ。次に、二つ目の価値は報酬だそうだ。最後に三つ目の価値は夢をはたすことだ。A君によると、一番大切な価値は夢だろう。会社の一員になることも大切だが、お金が少なくても夢を果たすと、A君は自己実現ができる。アメリカでも、この三つの働く価値と同じだろうと思うが、他の価値もある。例えば、家族のために働くことや自分の生活の目的を全うする人が多いだ。それは、私によると、一番大切な働く価値だと思う。私の意見では、モーシャルトやインシュタインみたいな人は、夢のに徹した。時々お金がなさそうだったが、毎日好きなことをできたので、充実感がある。そして、皆は一度しか生きられない。それで、私の意見では、仕事で自分の一番最高のバージョンになった方がいいだろう。自分の特別な技能を用いて、毎日頑張ろうと思っているのは良い考え方のはずだ。こういう

ふうにかえたら、A君の働き方も いいだろう。確かにお金は、すこし少なくとも、よく生活を生きるために、たくさんお金を要らなくても、大丈夫じゃないかと思う。そして、私はもちろん働くことと生きることが結びついているという考え方に賛成だ。前にも書いたあるけれども、生活は行動の総本だと思う。だから、仕事も行動だから、生活と結びつく かもしれない。結論として、どうやって生きるかどうやって働く は結びついていると思う。